

天下一家

我想请大家猜猜：我是哪个国家的人？

其实，我是日本人，生在日本，长在日本。可是，至今为止，无论是看到我的长相，还是听到我的名字，日本人都会觉得我是“外国人”。当我第一次走进幼儿园、走进中小校园的时候，都会有不少人对我投来异样的眼神，充满好奇和疑问。就在几天前，我打电话到医院，预约看医生，对方一听到我的名字，就问我：你会讲日语吗？开始，我很纳闷儿，心想：难道我刚才讲的不是日语吗？立马，我便明白了——我又被当成了“外国人”。有一段时间，我甚至十分讨厌我的长相和名字，希望能和其他日本孩子一样，我不想在对自身身份认定的混乱和不安中生活、成长。

去年8月，我参加了孔子学院组织的暑期夏令营，去了上海和北京，令我非常吃惊的是，在那里的三个星期，我一次也没有碰到对我的名字和长相感到好奇的人。正是这次在与中国和其他多个国家的年轻人交流的过程中，我才逐渐了解到：尽管日本是先进国家，但在对待外国人方面，却表现得颇为保守。

为了解决国内劳动力不足的状况，日本政府计划将在今后5年内接纳34万5千名外国劳动者，但如果不能在法制建设和国民意识方面做根本的改变，创造一个更利于外国人生活和工作环境，再美好的计划都将是空中楼阁。

要知道，无论我们的皮肤是黄色的、黑色的还是白色的，都是700万年前在非洲大陆诞生的“一家人”。

【日本語訳】

みなさん、私がどこの国の出身かあててみてください。

実は私は日本生まれの、日本育ちです。しかし、日本人は私の顔を見て、名前を聞くと、みな外国人だと思いこみます。初めて幼稚園、小中学校の校庭に足を踏み入れた時、多くの人が好奇と疑問のまなざしを私に投げかけました。先日も、病院に予約の電話をかけると、相手は私の名前を聞くと、「日本語はできますか？」と尋ねました。私は心の中で「さっき話したのは日本語じゃないの？」と思いました。また「外国人」だと思われたのです。一時期、自分の顔と名前が嫌で、他の日本人の子供と同じようになりたい、自分の身元を決めるについての混乱と不安の中で生活したり、成長したくないと思いました。

昨年8月に孔子学院のサマーキャンプに参加し、上海と北京に行きましたが、そこでの3週間では一度も私の名前と顔を物珍しく見る人に出会わなかったことにとっても驚きました。中国や他国の若者と交流する中で、段々と分かったことは、日本は先進国ではあるけれど、外国人に対しては非常に保守的だということです。

国内の労働力不足を解決するために、政府は今後5年間で34万5千人の外国人労働者を受け入れる計画ですが、法整備や国民の意識を根本的に変えなければ、外国人の生活と環境にとって更に良いもの、素晴らしい計画であっても絵に描いた餅になるでしょう。

黄色い肌でも、黒い肌でも、白い肌であっても、私たちは700万年前にアフリカ大陸で生まれた一つの家族なのだからということを知っておくべきです。